

次期計画検討部会（第 1 回）において確認された
主な項目について

- (1) 「全県横断的に産業振興に取り組む」との視点と「特定地域において産業の核を作り、それを成長させることで裾野を広げ、全県への波及を目指す」との視点の両面が必要
- (2) 地域内での連携が今後大事になる
- (3) 長野県内に存在する多数の地域のコアコンピタンス（強み）を優れた洞察力を持った地域の人々が上手く融合して、産業イノベーションを創出していくというメカニズムが必要
- (4) 産業イノベーションの創出を推進する主体は、中核企業に加え、大学等と公設試
- (5) 産業イノベーションの創出により、産業クラスターの形成を図るという視点が必要であり、また、産業クラスターの形成をマネジメント、リードする人材を位置づけることが重要
- (6) 価値をものづくりだけではなく、サービスに求めるような戦略を立てることが重要
- (7) 農業など他分野と一体となった取組が必要
- (8) 具体的な取組につなげるには、「次世代交通」から「航空機システム」に移ったように、3つの分野をブレイクすることが必要